地域から創業・起業の波

活性化への事業化モデル

地域経済の活性化に向けて新たなビジネスチャンスを切り開くスタートアップ（新規創業・起業）の促進が東北でも期待されている。その後押し役として、大学や自治体の存在は欠かせない。大学がコンソーシアム（連携体）を組んで起業家育成に力を入れる取り組みが進む中、このほど山形市内では起業家育成へ全国の連携体が集まり地域からのイノベーションを探った。一方、山形県は山形大学と連携して、ベンチャー創出支援を展開している。

次世代アントレプレナー育成事業／地域活性化イノベーションキャンプ

山形にコンソーシアム集う

ビジネスプラン磨く

世界に通用するビジネスモデルをつくるようなイノベーションを地域から起こすにはどうしたらいいのか。こんな難問に大学生らが真剣に取り組んだイベントが11月29日から3日間、山形市内で開かれた。

文部科学省「次世代アントレプレナー育成事業」に参画する大学で構成する五つのコンソーシアムが山形に集結。同事業に採択された連携体を構成する山形大学など全国の計24大学のほか北海道・東北地域の大学生らが各チームごとのビジネスプランをキャンプ形式で磨き、地域からの事業化への機運を高める動きがあった。

次世代アントレプレナー事業は、実際に起業できる「EDGE―NEXT」人材の育成、挑戦する「Future―EDGE」人材の裾野拡大が狙いで、ベンチャー・エコシステムの構築を目指している。現在主幹機関として5大学、協働大学19大学の計24大学が参画している。

コンソーシアムの採択機関は5コンソーシアム。山形大は早稲田大学が主幹機関となる「SkywardEDGEコンソーシアム」に加わっている。山形大の同事業に伴う人材育成プログラムは、2018年4月から本格化し、現在2年目に入っている。

今回の山形でのイベントは同コンソーシアムが主催する形で、5コンソーシアムが一堂に集まるのは今回が初の試み。また、18年に東北大学と山形大が中心となって東北大で開いた東北地域の起業家育成イベント「イノベーションキャンプ」と併せて拡大版のビジネスプランコンテストが実施された。

山形市内のホテルで開かれた地域活性化イノベーションキャンプの表彰式（12月1日）

各コンソーシアムの取り組みや意見交換などはイベントの2日目に開いた。今回の目玉は3日間のキャンプ形式となる地域活性化イノベーションキャンプで、次世代アントレプレナー事業に加わる学生ら参加した拡大版のビジネスプランコンテストで全国から計36チームが参加した。

最終日の決勝エントリーには15チームが残り、最優秀賞には米沢工業高校専攻科の佐藤樹さんらのチームが輝いた。提案プロジェクトは「農業向けの負担軽減グッズ製作事業」。キャンプ期間も含め相談を受け付けるメンターらによる提案のブラッシュアップを重ねた結果、栄冠をつかんだ。全体講評で、山形大の大場好弘副学長は「考えて行動した中でも失敗があったと思う。ただ失敗は宝でもある。踏み出したことが素晴らしい」と参加者の挑戦をたたえた。

〝地域活性化〟が大きなテーマとなった今回のイノベーションキャンプ。18年は東北地域の学生が中心だったが、今回の全国版は地域を超えた多くのつながりが山形で生まれた。このイノベーションキャンプを契機に一段のアントレプレナー事業の推進が見込まれる。

最優秀賞を受賞した米沢工業高校専攻科チームを代表して専業化プランを説明する佐藤樹さん㊧（12月11日、山形県米沢市の山形大工学部）

地域活性化イノベーションキャンプなどには3日間で延べ343人が参加。イベントの事務局を担った山形大国際事業化研究センターの小野寺忠司センター長は、今月11日に山形大工学部で結果について会見した。

最優秀賞に輝いた米沢工業高校のチームは全体で4人。同校は山形大のEDGE―NEXTプログラムを受講しており、小野寺センター長は「作業効率の改善など地域農家の悩みを捉えた。実証も進んでおり評価された。プログラムの一つの成果」（小野寺センター長）としている。会見にはチームを代表して佐藤樹さんが同席した。佐藤さんは「今回のテーマに関連した特許出願の準備をしている」とし、継続する事業への飛躍を見込んでいる。

山形県ものづくりベンチャー創出支援事業

新市場開拓へ企業・学生らが参画

山形県が山形大学と連携して進める「山形県ものづくりベンチャー創出支援事業」で成果が深まりつつある。スタートアップ企業はじめ既存企業の新事業展開など、新たな市場開拓に挑む環境整備を進めてきた。同事業は15年度から5年間の取り組みで最終年度を迎えている。

事業は二段階方式で進んでいる。第一段階でシリコンバレー流・山形ものづくりイノベーションのプログラムを実施。シリコンバレーへの渡米研修で事業化へのサポートを展開した。第二段階は、17年度から運用を始めた。独自のベンチャー創出支援プログラムの構築で、既存企業などの新事業やスタートアップ企業の創出に力を入れてきた。18年度から運用母体が山形大国際事業化研究センターとなった。

事業の委託先となる山形大では「山形大学EDGE―NEXT人材育成プログラム」の起業家育成プログラム（実践編）として取り組んでいる。参加者の持つビジネスアイデアを専門家の支援も受けて1年間のプログラムで事業化にまで高める。この5年間で計42チームによよぶ企業、大学研究室、学生・個人が参画。実際の起業2件、資金調達6件、新事業創出2件などの成果が生まれた。外部資金調達は合計で約13億円になるという。小野寺忠司山形大国際事業化研究センター長は「イノベーションの重要性が地域に深まった」とし、一段の地域の活性化を展望する。

11月5日に山形市内で開かれた山形県ものづくりベンチャー創出支援事業の事業報告会

超精密加工などで成果

11月に山形市の山形県高度技術研究開発センターで開かれた事業報告会では、IMUZAK（イムザック・山形市）、など6社の支援先が現状や今後の展開を報告した。

15年設立のスタートアップ企業、イムザックは曲面への超微細加工による表面改質など独自の超精密加工技術が持ち味。16年の支援事業によるシリコンバレー研修での投資家へのプレゼンなどを踏まえ、段階的に成長を続けている。今回の報告会で澤村一実社長は「このプログラム参加でここまでやってきている」と強調した。一方で、既存企業の事例報告では、サニックス（山形市）がIoT（モノのインターネット）を活用した電動トラックによる物流の低炭素化のプロジェクトなどを紹介した。

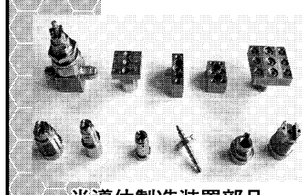
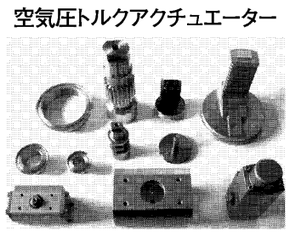
最終年度を迎えた山形県ものづくりベンチャー創出支援事業。今後は成果を踏まえ、20年度以降の継続支援の仕組みづくりが検討されている。

東北産業特集

プラスチック射出成形のガス抜きピン ガストース
株式会社 プラモール精工
PLAMOUL
プラモール精工 検索
〒981-3351 宮城県富谷市鷹乃杜4丁目3-5
TEL 022-348-1250 ／ FAX 022-348-1244

エレクトロニクス・自動車分野を支える表面処理技術
確かな表面処理技術で環境に貢献
私達はナノレベルの表面処理技術開発により、先端技術開発と地球環境の保全を行ないます。
JQA-QMA10902　JQA-EM1542
事業部門
■電子部品めっき部門
■自動車部品めっき
・化成処理部門
■塗装部門

尾長島工場
スズキハイテック株式会社
本社・工場／〒990-0051 山形市銅町2－2－30　TEL.023(631)4703
尾長島工場／〒999-0213 川西町大字尾長島740－12　TEL.0238(54)3615

半導体製造装置・自動車部品・繊維機械部品
一般産業用機械精密部品の製造

半導体製造装置部品
空気圧トルクアクチュエーター

株式会社 伊藤製作所
代表取締役社長　伊藤 明彦
本社・工場
〒990-2317
山形市みはらしの丘5丁目1-3
TEL 023-687-1451
FAX 023-687-1452
ISO9001

天候・場所・時間を問わず、草刈り・帰還・充電すべて自動で行います。
ロボモア（ロボット草刈機）KRONOS（クロノス）MR-300
KRONOSスペック
・車体寸法：845×520×360mm　・車体重量：16kg　・充電時間：約1時間/回
・作業時間：約1時間/回　・刈幅:300mm　・最大作業領域：3,000㎡
※ご使用の際にはスマートフォン（タブレット）が必要です
和同産業株式会社　TEL 0198-24-3221
■本社　岩手県花巻市実相寺410　https://www.wadosng.jp/

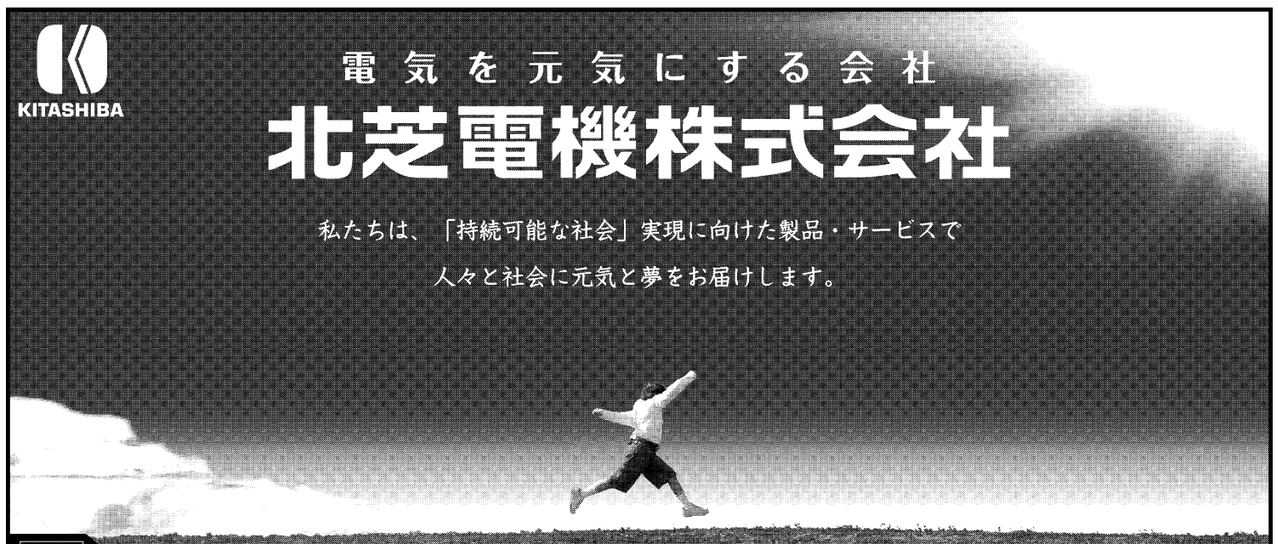
情報の価値化と知の協創をデザインする
UCHIDA
内田洋行
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-4-22　電話：022-292-2781　FAX：022-292-2797
URL：http://www.uchida.co.jp

震災復興のための復旧工事をはじめ、
新たなインフラ構築など、
人々の日々の暮らしに深く関わる数々の仕事から、
地域社会の基盤を支えるお手伝いをしています。

丸伊石材工業株式会社
〒986-0102
宮城県石巻市成田字転石山 1-1
TEL 0225-62-2708　FAX 0225-62-2785
URL http://marui-s.co.jp/

GET good Future with CS

お客様とともに未来を築く
半世紀以上の歴史の中で培われた超精密微細加工技術に加え、ハード・ソフト双方の最先端技術を蓄積。国内事業所と海外事業所のシナジー効果を高め、「エンジニアリング」と「グローバリゼーション」をキーワードに品質と防災の徹底により、安全と安心を添えたMTEXブランドを世界に向けて発信し、未来を見据えたワールドワイドな事業展開を図ります。
エムテックスマツムラ株式会社
●本社・天童事業所
〒994-8501　山形県天童市北久野本1-7-43　TEL023-654-3211㈹　FAX023-654-9088
●尾花沢事業所
〒999-4231　山形県尾花沢市北町2-2-2　TEL0237-22-1151㈹　FAX0237-22-1150
〈関連会社〉㈱新庄エレメックス／エムソフト㈱
MTEX(VIETNAM) CO.,LTD

KITASHIBA
電気を元気にする会社
北芝電機株式会社
私たちは、「持続可能な社会」実現に向けた製品・サービスで
人々と社会に元気と夢をお届けします。

取扱製品
受変電システム・変圧器（電力用、炉用、一般産業用）・環境調和型変圧器（ナタネ油変圧器）・再生可能エネルギーシステム（太陽光、風力、水力発電）
誘導炉・加熱機・監視制御システム・発電機・非常用発電機・自動車用モータ・熱交換システム（冷却器）・省エネ管理システム
本社・工場 〒960-1292 福島県福島市松川町字天王原9番地　TEL 024-537-2121　FAX 024-537-2123
支社／東京支社（川崎）、東北支社（仙台）、関西支社（大阪）　営業所／札幌、福島、新潟、名古屋、福岡
https://www.kitashiba.co.jp